



～もう一人の自分たち～

校長 島浦 昌乃

ふるさと宇美を愛し、志をもって、たくましく未来を生きる生徒の育成 (文責：教頭 土器 修)

学校関係者評価についてのご報告 ～第2回学校運営協議会の実施～

10月26日(水)に、原田小学校・宇美南中学校区第2回学校運営協議会を実施しました。第2回学校運営協議会では、委員の皆さまに学校評価(一次評価)の結果とこれに基づく改善に向けた取組を説明し、ご意見をいただいています。学校関係者評価委員を兼ねた委員の皆さまの評価の結果といただいたご意見の一部をお知らせいたします。

<評価の結果>

※4段階による数値評価の平均値です。

評価項目	第1回	第2回	評価項目	第1回	第2回
方策1「磨き合う集団づくり」	3.25	3.86	方策4「教職員の研修の充実」	3.25	3.71
方策2「学び合う集団づくり」	3.25	3.57	方策5「教育環境の充実」	3.38	3.71
方策3「組織の機能化」	3.38	3.57	指導の基盤「積極的な生徒指導の推進」	3.50	3.86

<ご意見>

<方策1「磨き合う集団づくり」について>

- ・ 様々な数値を分析すると、一人一人の道徳的判断力、実践力は高いと思われます。集団的行事が実施できるようになり、「集団の中の自分」を自覚し始めたことの表れです。今後、学校と保護者が一人一人の個の良さを見つけ、伝えていくべきです。
- ・ あいさつする生徒が少ないことが残念です。生徒会異学年チーム制は集団づくりに有効だと思います。

<方策2「学び合う集団づくり」について>

- ・ 夢実現プログラムは、子どもが将来の夢を考えるきっかけづくりとして有効です。
- ・ 対話活動を取り入れるのは、学習内容を獲得する場面、互いの成果を伝え合う場面、困り感を共有・解決する場面です。集団での学びを個人の中に残していくという意識を大切にしてください。

<方策3「組織の機能化」について>

- ・ 共働き世帯が多い現状で、教員が放課後に補充学習を実施し、家庭では保護者が手伝いをさせるというような分担も検討する必要があります。

<方策4「教職員の研修の充実」について>

- ・ 若手の先生が多い中で、組織の機能化、研修が大切になってくると思います。時間をうまく活用して報告・連絡・相談を今後も十分行ってください。
- ・ 情報端末は、この時代必須の教具ですので、小中学校で連携して活用法を学ばせてほしいです。

<方策5「教育環境の充実」について>

- ・ 先生方が一枚岩になって生徒を伸ばそうと日々努力されていること、ICTをはじめ機材や教具を用いて授業の工夫を行っていることが伝わります。
- ・ 先生方が一人一人の生徒に関わってくれています。

<指導の基盤「積極的な生徒指導の推進」について>

- ・ 家庭では注意されることが多いです。先生方から誉めていただくことは子どものモチベーションの向上につながります。
- ・ 不登校の出現時期、「学校が楽しくない」時期の傾向、学級の規律が緩まる時期、それらに影響を与える学校行事等、ベテランの先生を中心に全教員で分析してください。

宇美町教育委員会等からのご指導について ～宇美町教育委員会学校訪問の実施～

11月8日(火)に、宇美町教育委員会学校訪問が実施されました。佐々木壮一朗教育長をはじめ、教育委員の皆さま、原田小学校教頭 橋村貴浩さま、学校教育課、社会教育課、こどもみらい課の皆さま、計16名の方にご来校いただきました。学校側から学校経営の進捗について報告し、取組等について評価をいただきました。皆さまからは、南中生の授業への集中力や日々の黙働掃除の徹底について称賛の声をいただきました。以下に本校の教育課題と経営課題についてのご意見の一部をお知らせします。今後も改善に努め、チーム南中の協働性を発揮し、「鍛えて・ほめて・励まして」の教育活動を推進してまいります。



学校訪問(授業参観)の様子

<教育環境の充実>

- ・ 整理整頓が行き届いており、落ち着いた学習環境が整えられている。
- ・ 随所にユニバーサル・デザインの学習環境づくりがなされている。
- ・ 掲示物が充実している。調べたこと、他学年へのメッセージなど、子ども目線のものも多く、意欲喚起につながっている。

<授業改善>

- ・ 先生の声の出し方が良い。そのため、生徒も落ち着き、集中して学習に取り組むことができている。
- ・ 導入の工夫、資料提示の工夫、配時の工夫、学習活動の工夫等の指導技術が魅力的な授業につながっている。

<小中連携>

- ・ 自己指導能力については、小中連携して、自分で計画を立て徹底・実行し、自己をコントロールする習慣付けをお願いしたい。
- ・ 1小1中の関係を生かし、人間関係形成力の向上を小中連携して図ってほしい。

<お知らせ> 本校校長室横に宇美町民憲章コーナーができました。

10月26日(水)に宇美町民憲章除幕式が行われ、本校からも第25代生徒会長の伊藤寛菜さんが出席しました。令和3年度から、未来の創り手である宇美町の小中学生も意見を出し、投票にも関わりました。その除幕を記念して、本校校長室横にコーナーを設置しました。ご来校の際は是非ご覧くださいませようお願いいたします。



町民憲章コーナー

小中連携の協働活動の推進 ～CSフォーラムでの地域防災学習の実施～

11月実施のCSフォーラムにおいて、本校では、原田小学校6年生の児童と一緒に地域防災について考える活動を実施しています。本年度は11月12日（土）に実施しました。内容は、災害時に避難したり、実際に避難所を運営したりする際に生じる課題をどう解決し、どう判断するのかについて、講演と演習を実施しました。

講演では、社会福祉協議会から講師の井手達也さまをお招きし、「災害時の対応力を高めよう」という演題でご講話いただきました。演習では、「避難所運営ゲーム」を行いました。自治会毎に小中学生が一緒になってグループをつくり、活動しました。このゲームは、避難所に来た家族を、その特性に応じて適切な場所に案内・誘導するものです。時折、「仮設トイレをどこに設置するか」等のイベント指示が出て、グループで素早く意見を出し合い、配置場所等を判断します。どのグループでも、積極的に協議し、意見を調整しながら結論を出していました。校種や学年を超えた連携・協働活動を通して、地域の一員として地域防災を支えるという自覚が高まるだけでなく、コミュニケーション能力や課題対応力を身に付けることができました。最初は、互いに緊張していた小中学生も、活動終了時には、気さくに話しかけ合うまでになりました。実際に災害がおこった際には、このように互いを認識し、気軽に意見を交換できる関係が大切とされています。この観点からも、本校では、小中連携の協働活動を引き続き推進してまいります。



講演の様子



避難所運営ゲーム
HUGの様子

読書活動推進事業の取組 ～ビブリオバトル「知的書評合戦」等の実施～

本町は、平成19・20年度に文部科学省委嘱「子ども読書の街づくり推進事業」に取り組み、家庭や地域、学校、保育所や幼稚園、町立図書館等が連携した読書活動推進事業を進めてきました。町立図書館が実施する読書サポーター養成講座や本校における読み聞かせ、ビブリオバトル等の取組がこれにあたります。

町立図書館主催の読書サポーター養成講座では、各学校からの受講者が参加し、7月の開講式から8月までビブリオバトルを中心に研修を積みます。2学期には、その学びを生かして各学校で実践研修を行うことになっています。本年度、本校から4名の生徒が参加し、町立図書館での研修を終えています。

10月31日（月）に実施された本校ビブリオバトル「知的書評合戦」においても、4名の受講者は、代表にノミネートされ、聴衆を唸らせる魅力的な書評を行いました。特に本年度は、自らの世界観を前面に出す書評が多く、バトルの個性と個性が激しくぶつかり合いました。これまでにない、新たなビブリオバトルとなり、南中の読書文化のレベルがまた一段上がったことを実感しています。読書サポーター養成講座の4名と参加したバトルの本にかける熱い思いに心から敬意を表します。

10月31日（月）、11月2日（水）、4日（金）には、宇美町読書ボランティア「ママーグース」の皆さまをお招きし、本年度最後の読み聞かせを実施しました。生徒たちにとって本に親しむ貴重な機会となりました。「ママーグース」の皆さまには、感染症対策に丁寧にご対応いただきましたことに、心より感謝いたします。お陰をもちまして、生徒たちは豊かな本の世界にふれることができました。



図書館での読書サポーター
養成講座の様子



ビブリオバトル
決勝進出バトル



ママーグースによる
読み聞かせの様子

1学年「夢をさがす」ための1歩 ～1学年夢実現講演会の実施～

11月25日（木）に社員教育接遇マナー研究所の代表 俵純子様を1学年夢実現講演会の講師にお招きし、「よりよく生きる」を演題にご講話いただきました。講話では、前々日に、ワールド・カップ・サッカー・カタール大会でドイツを破った日本代表の浅野拓磨選手が取り上げられ、よりよい結果を生むための準備や日常の積み重ねの大切さが語られました。俵先生の講話では、日常行動「明るいあいさつ」「さわやか笑顔」「元気な『ハイ』」「きびきび行動」の唱和や演習がよく行われます。この日も同様に行われましたが、日本代表の劇的な勝利の感動もあり、1年生はいつも以上に元気に取り組んでいました。1年生ができていないときは、俵先生から厳しくも温かいご指導をいただきました。座り方から徹底的に鍛えられました。お陰で、1年生は見違える程、礼儀や所作が整えられました。



俵先生の講話の様子



演習の様子

自治力の向上を目指して ～立会演説会・生徒会役員改選の実施～

11月17日（木）に生徒会役員立候補者による立会演説会と全生徒会会員による投票が行われ、第26代生徒会役員が選出されました。候補者は11月7日（月）から昇降口や各学級で選挙運動を行い、公約と抱負を伝えてきました。厳粛な雰囲気の中、生徒会会員は、候補者の主張を改めて確認し、自らの願いと責任の思いを込めて一票を投じました。南中生一人一人の生徒会会員としての自覚を高め、学校全体の自治力を向上させる貴重な機会となりました。第26代生徒会は、来月の役員任命式をもって正式に始動することになります。選出された新生徒会役員は次号学校だよりにて紹介します。



投票の様子